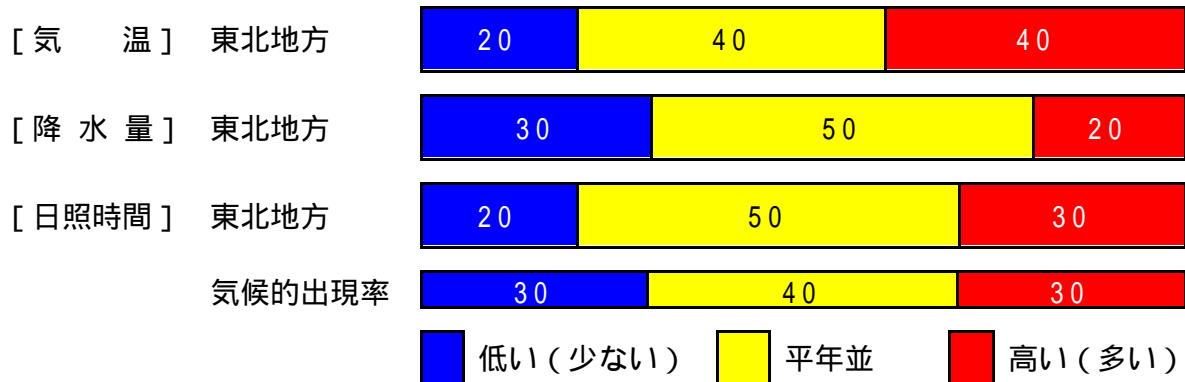


東北地方 1 か月予報の解説 (予報期間: 10 月 21 日 ~ 11 月 20 日)

平成 12 年 10 月 20 日 仙台管区气象台

1. 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)



[気 温]: 東北地方は「平年並」または「高い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40% です。「低い」の可能性は 20% と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50% です。次に大きい確率は「少ない」で、その確率は 30% です。「多い」の可能性は 20% と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50% です。次に大きい確率は「多い」で、その確率は 30% です。「少ない」の可能性は 20% と小さい。

2. 予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう 1 か月

天気は数日の周期で変化するでしょう。低気圧の通過後は、一時冬型の気圧配置となる見込みです。

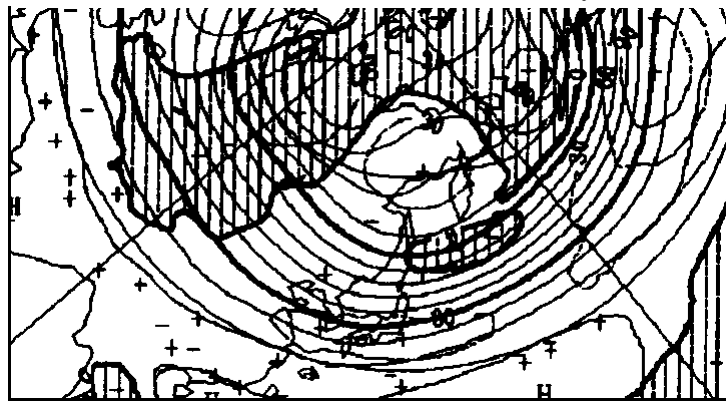
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約 18 日です。

各予報期間の天候の特徴

- 1 週目..... 期間の前半は高気圧に覆われ晴れる日が多いでしょう。気圧の谷が通過する期間の中頃に天気が崩れるところがある見込みです。気圧の谷の通過後は、寒気の影響で日本海側では曇りや雨の降る日がある見込みです。
平均気温は高い見込みです。
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。
- 2 週目..... 天気は数日の周期で変化するでしょう。
(10 月 28 日 ~ 11 月 3 日) 平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。
- 3 ~ 4 週目..... 天気は数日の周期で変化するでしょう。低気圧の通過後は、一時冬型の気圧配置となる見込みです。
(11 月 4 日 ~ 11 月 17 日) 平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数は東北地方で約 8 日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

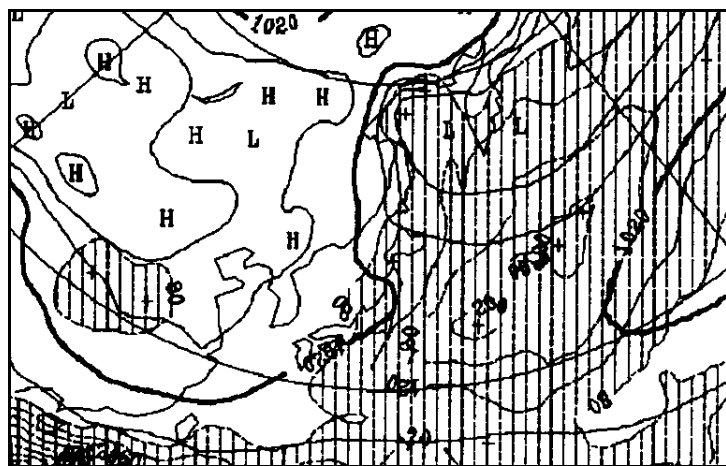


月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、オホーツク海と西日本に中心を持つ正偏差に覆われる。上空を流れる偏西風は東西流が卓越しており、天気は周期的に変化する。

週別（図略）は、1 週目は本州付近は正偏差で東西流が卓越する。2 週目は、西谷傾向で東北南部を中心に日本の南岸の前線の影響を受ける可能性もある。3～4 週目には日本の北で気圧の谷が深まり、東北北部を中心に寒気の影響を受ける時期がある見込み。

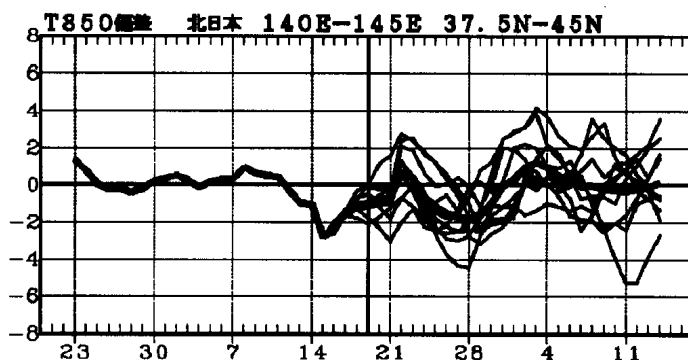


月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

・地上気圧と降水量

月平均で見ると、大陸から張り出した高気圧が東北地方にまでかかる。東海上を中心とした降水域が東日本までかかる。

週別（図略）では、1 週目は月平均とほぼ同様な場で、東北地方には、大陸から日本の東海上にのびる弱い降水域がかかる。2 週目は日本付近は高圧部となるが、関東付近は気圧の谷となっており、日本の南岸にまとまった凝結域があり、日本全域に弱い降水域がかかる。3～4 週目は、月平均とほぼ同様な場で、東北地方に弱い降水域がかかる。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想

(縦軸：気温平年差() 横軸：日付)

発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

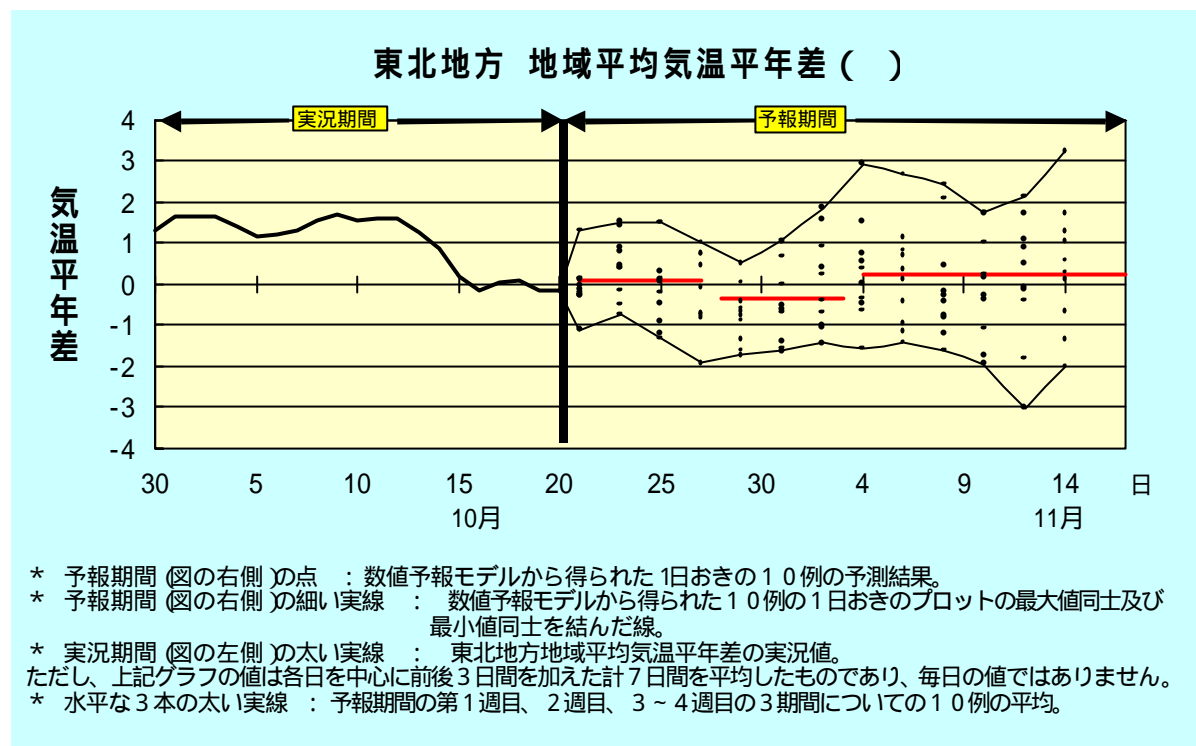
・北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、2 週目前半まで平年を下回り、前半はおおむねどのメンバーも同様の変化が予想される。2 週目後半からは平年並となるが、全体的にばらつきは大きい。

なお、最近では 850hPa の気温よりも地上気温が 1～2 程高めになる傾向が続いている。(次ページ東北地方地域平均気温平年差図参照)

3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1週目は「平年並」、2週目は「平年並」、3～4週目は「平年並」を予想している。1週目は週間予報資料から「高い」とする。2週目以降は降ばらつきが大きく、後半の信頼度は低下する。

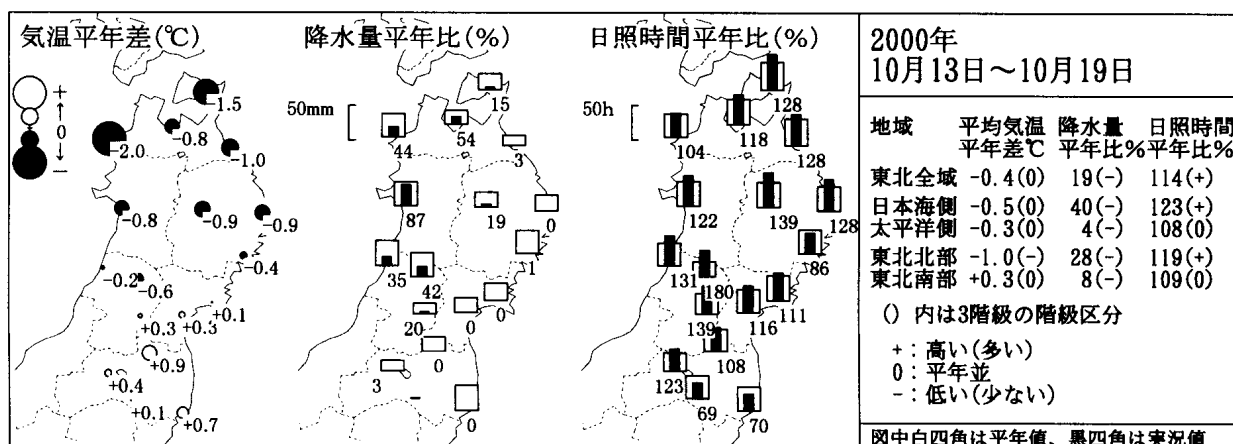


4．最近1週間(10月13日～10月19日)の天候の経過

この期間、天気は周期的に変化した。14日の朝には東北地方を低気圧が通過し、広い範囲で弱い雨となった。15日は日本の北を低気圧が通過し、その影響で北部の一部で雨となった。また、17日夜から18日朝にかけて東北地方を寒冷前線が通過し、東北日本海側と東北北部で雨となった。そのほかの日は高気圧に覆われおおむね晴れた。

18日の寒冷前線の通過後は寒気が南下し、この秋一番の冷え込みとなった。19日には盛岡で初氷、若松で初霜を観測した。

平均気温は、東北北部で平年差-1.0と平年より低く、東北南部で平年差+0.3と平年並だった。降水量は、東北地方で平年比19%と平年より少なかった。日照時間は、東北北部で平年比119%と平年より多く、東北南部で平年比109%と平年並だった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)